



ながた典子

NAGATA NORIKO

—KOMEITO— 公明党 大阪市会レポート スマイル通信

2017年冬号
SMILE COMMUNICATION
Vol.4



発行所 ながた典子市政事務所 〒547-0043 大阪市平野区平野東1-8-37 TEL 06-6791-1113 / FAX 06-6791-1116

平素は、多くの皆様の温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
大阪市議員として皆様へ押しあげて頂いてから1年9ヶ月。皆様からご相談頂いた市民相談は約770件。これからも「励ましの心・育てる力・安心安全の平野を!」をモットーに、皆様お一人、おひとりのお声を市政に届けてまいります。今後とも、更なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
大阪市議会議員 ながた典子

一般決算特別委員会にて質疑

11月1日(火)～11月8日(火)に大阪市会一般決算特別委員会が開催され、11月4日(金)に質疑させて頂きました。

多文化共生教育について

- Q 外国から来た子どもたちのため、日本語教育のあり方を見直すべきではないか。
- A 外国から来た子どもたちが一日でも早く学校生活に適應できるよう、総合的な観点に立った施策を推進していきます。

塾代助成事業について

- Q 現在までの利用状況、オンライン型の今後の見込みと「民間事業者を活用した課外学習」についてどのように取り組んでいくのか。
- A 助成カード交付者 約18,000人のうち、利用者は約14,000人で、利用可能な教室は約2,200教室。オンライン型が利用可能な教室についても、少しずつ増加していくと見込んでおり、民間事業者を活用した課外学習の取り組みも検討していきます。



学校トイレの様式化について

- Q 和式が多く使いづらいとの声が多く上がっている学校トイレの整備を早急に進めるべきではないか。
- A 近年、年間約15系統の実施件数を、今年度から約40系統に増加させる計画とし、洋式化並びに、トイレ環境整備について、より一層積極的に推進していきます。

子育てのワンストップ化について

- Q ICTの活用により子育てのワンストップサービスの強化についてどのように取り組んでいくのか。
- A 母子保健業務に加え、新たに産後ケア事業、乳児全戸訪問等の訪問記録などを追加に向けてシステム化できる部分から順次進めていきます。

B型肝炎ワクチンの対象年齢拡大について

- Q 十分な接種期間がないことで期間外の接種となった場合も考えられる。不公平感のないよう接種費用の助成を設けるべきではないか。(右段上へ続く)

(左段下から続く)

- A 肝炎予防、公平性の観点からも、接種の機会の確保について検討していきます。

介護職員待遇改善について

- Q 介護職員待遇改善加算が介護報酬として正当に支給されているかをどのように確認しているのか。
- A 事業所に対する定期的な立ち入り調査において、処遇改善加算が適切に運用されているかを確認しています。

介護予防ポイントについて

- Q 現在の活動者数が、当初の事業への期待に比べ程遠い状況であるが、今後どのように取り組んでいくのか。
- A 活動者、受入れ施設の両方に対して働きかけを強化。高齢者の社会参加、生きがいを通じた介護予防を進めていきます。

みなさまのお声がカタチになりました!

●「平野北公園の健康遊具の使用方法がわからない」とのお声をいただき、大阪市建設局に確認。市内841基すべての健康遊具に、使用方法のわかるステッカーを貼付するとの回答を得ました。



健康遊具説明用ステッカー



平野北公園 健康遊具

スマイルカフェ 女性黨員らがミニ語る会



「ママ友」の声を実現 共感呼ぶ／
「議員の存在が身近に」との感想も／大阪市平野区

若いお母さんたちの声から地域をより良くしよう!—。大阪市平野区北部で活動する女性公明黨員らと永田典子市議でつくる「ハッピースマイルプロジェクトチーム」(山下定代表)は11月28日、同区内の集会所で「ハッピースマイルカフェ」と題したミニ語る会を開催。子育て中の母親らと和やかに交流した。

同チームは、昨年4月に初当選した永田市議が同区選出の公明議員として初の女性であることをきっかけに、「これまで以上に女性の声を政治に届けていこう」との女性黨員有志らの呼び掛けで結成。選挙直後から活動をスタートした。

メンバーは毎月1回集まり、「ママ友」たちから寄せられる暮らしの中の悩みや困り事を共有。それを永田市議につなげる一方、区長ら行政関係者にも直接、要望活動を行うなど、地域の課題解決に奮闘。スマイルカフェの中で「カタチ」になった成果を報告している。

「親子で楽しみ学べる企画も好評」

3回目となった、この日のカフェでも永田市議の市政報告とともに、同チームのメンバーが活動報告。薄暗い地下歩道の照明器具の交換や市未利用地の雑草除去をはじめ、市立平野図書館の赤ちゃん向け絵本コーナーの

入り口にイラストを掲示し、親子が利用しやすい雰囲気改善した実績など、女性ならではの取り組みが共感を呼んだ。

このほか、元幼稚園教諭の応援を得て絵本の読み聞かせやベビーマッサージ体験も開かれ、参加者から好評だった。こうした企画が毎回工夫を凝らして行われており、これまでも保健師を招き風邪予防の講習を開くなど、親子で楽しみながら学んでいる。

この日、参加した荒木由希子さん(31)からは、市未利用地の雑草除去について「夏場はカメムシが大量発生して、臭いがひどかった。議員に相談してからすぐに対応してくれ驚きました」と感謝の言葉が寄せられていた。

また、毎回参加している香西有希さん(29)は、「議員の存在が身近に感じられるようになったし、ママ友同士の情報交換の場にもなってリフレッシュできます」と感想を述べていた。

永田市議と山下代表は、「元気で安心な地域づくりへ、これからも女性の視点と発想で貢献していく」などと、意気込みを語っていた。



女性黨員らがミニ語る会



「ママ友」の声を実現 共感呼ぶ
議員の存在が身近に」との感想も

▲2016年12月6日付 公明新聞に掲載

大阪市中学校給食 公明党がいるから一地域は安心、元気に／ 中学校給食 学校調理方式へ移行進む／大阪市



大阪市は、中学校給食の提供方法について、外注した弁当を配る従来のデリバリー方式から、学校の調理場で作った食事を提供する「学校調理方式」への移行を順次進めている。これは生徒・保護者の声を受け、市議会公明党(土岐恭生幹事長)が推進してきたもの。同市は昨年2月、全市立中学校で2019年度2学期までの完全実施に向けた年次計画を策定。これまでに128校中22校が移行した。

既に実施している市立今宮中学校(西成区)を訪れた市議らに、3年生の男子生徒は「温かくて前よりおいしくなった」と語っていた。



▲2017年1月1日付 公明新聞に掲載

励ましの心・育てる力 安心安全の平野を!

ご相談
お待ちしております!

不在の時間がございますので、
ご連絡をいただいてから、
ご来訪いただければ、幸いです。

☎06-6791-1113

